

令和3年度 第2回（通算第49回） 山梨県立博物館 運営委員会 議事録

日 時： 令和3年12月10日（金） 午後2時～午後3時30分

場 所： 県立博物館 生涯学習室

出席者：

- 委員 小澤龍一、清雲俊元、笹本正治、末木健、中山誠二
- 事務局 守屋館長、新井副館長、森原学芸幹、田邊総務課長、田口企画交流課長、  
関係職員10名
- 観光部文化振興・文化財課 浅川総括課長補佐

会議の次第：

- (1) 開会
- (2) 審議
- (3) 報告
- (4) その他
- (5) 閉会

会議の概要

- (1) 開会
  - 館長挨拶
  - 委員長挨拶
- (2) 審議【非公開】
  1. 令和4年度の企画展・シンボル展および令和5年度の企画展計画について※非公開理由：山梨県情報公開条例第8条第1号及び2号に規定する事項について  
審議等を行うときに該当するため（指針第3条第1項）
- (3) 報告
  1. 令和4年度の調査研究計画について
  2. 開催済み展覧会について
  3. 資料・情報委員会の開催状況について
  4. 利用者状況
  5. みんなでつくる博物館協議会の開催状況について○事務局より、報告1～5について、各々資料2～6に基づき説明。
- 委員  
よく頑張っていると思う。コロナ禍による利用者の減少率も良く踏みとどまって

いる。今後も頑張ってもらいたい。評価の問題もしっかり取り組んで欲しい。

○委員

いろんなことをみなさん頑張っている。コロナの波のなかでもあるが、それにめげずに進んで行って欲しい。

○委員

コロナ禍で大変だと思う。特に展覧会が開催できなくなってしまった経験もあり、ダメージが大きかったと思う。ウィズコロナでコロナ禍でできること、展覧会以外でもできることを進めて行って欲しい。

○委員

コロナ禍でご苦労されていることは頭が下がるところである。引き続き頑張っていて欲しいと思う。

○事務局

今夏開催した企画展「特撮のDNA」に関しても、コロナ禍でさまざまな点で厳しいところがあった。多様なジャンルとミッションをこなしつつ、数字も稼いでいくということを自らに課して頑張っているところだ。展覧会のテーマによっては決定的なことを申し上げるというより、いろいろと議論があるなかで進めていきたいと考えている。展覧会の組み立てなども、県のルールのなかで良く考え直していかなければならないとも思う。内部でもよく協議していきたい。本日はありがとうございました。

○委員

前々から言っているように、博物館の増改築問題を忘れてしまっては困る。新しい組織になり、武田関係も信玄生誕 500 年という節目を迎えたが、いまだにどこに行ってもしっかりと信玄のことは見ることができない施設が県内にない。それを山梨県が作り、博物館が担っていくのだということを明らかにして欲しい。開館から 10 年、そして 15 年では実現に至らなかった。開館 20 年では進めることができるように、ぜひ進めて行っていただきたい。

(4) その他【公開】

○特になし。

(5) 閉会